

大阪大学 CSCD 主催

第 11 回科学技術コミュニケーション

デザイン・セミナー

07.03.01

マニュアル作りの現場から

～『ユーザーの立場に立つ』とは～

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター (CSCD) では、科学技術コミュニケーション・セミナー開催しています。セミナーでは、科学技術をめぐって社会の中で生じている紛争を解決する手段としての「科学技術コミュニケーション」や「参加型テクノロジーアセスメント」などの実践領域で活躍しておられる方をお招きし、話題提供をしていただきます。その後、提供された話題を中心に、参加者によるディスカッションを行う予定です。

第 11 回は、「マニュアル作りの現場から～『ユーザーの立場に立つ』とは～」というテーマで行います。

もっとも頻繁に行われている「科学技術コミュニケーション」の一つに、機械のマニュアルがあります。多くの機械が複雑化、高機能化するに従ってマニュアルの重要性も増しており、より高度な知識と技能を要求されるようになってきました。日本のマニュアルは国際的に見て必ずしも評判がよくありませんが、その問題を克服するために様々な努力が行われてるようになってきました。今回は、「技術コミュニケーション」の一線で活躍するテクニカル・ライターをお招きして、今「技術コミュニケーション」にとって重要な問題とはなにかをうかがいます。

■日時： 2006 年 03 月 01 日 (木) 18:00-20:00

■場所： 大阪大学豊中キャンパス 大学教育実践センター  
管理講義棟 (共通教育棟) A103

<http://www.osaka-u.ac.jp/jp/about/map/toyonaka.html>  
の 10 番

■主催： 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター

■講師紹介 湯川真朗氏 (有限会社キートン)  
<http://www.keyton-co.jp>

■申し込み方法

どなたでも参加いただけ、参加費は無料です。当日参加も可能ですが、会場の都合上、定員は 30 名とさせていただきますので、sts[at]cscd.osaka-u.ac.jp まで参加申し込みをいただいた方の入場を優先します ([at] を @ に変えてください)。申し込みにお返事はいたしません。当日会場までお越しください。

大阪大学コミュニケーションデザイン・センター 春日, 八木  
tel/ 06-6816-9494 e-mail/ stc@cscd.osaka-u.ac.jp

※本企画は、(独)科学技術振興機構 (JST)「研究者情報発信活動推進モデル事業」に採択された受託研究の一環として行っています。

CSCD  
Communication Design Center